平成２０，２１年度
新しい環境教育のあり方に関する
調査研究事業（文部科学省）

大仙市教職員研究集会実践発表

秋田県大仙市立大曲南中学校
島　田　　智

平成22年4月21日（水）

詳しくはWEBで・・・

大曲南　環境

検索

最近，「エコ」という言葉が頻繁に使われますが・・・

- 「ペットボトル回収」は，
  なぜ「エコ」なのでしょうか？
- 「ハイブリッド車」は，
  なぜ「エコ」なのでしょうか？
- 「節水」は，
  なぜ「エコ」なのでしょうか？

考えたことがありますか？

本校の環境教育が目指すもの･･･

正しい知識に裏付けられた

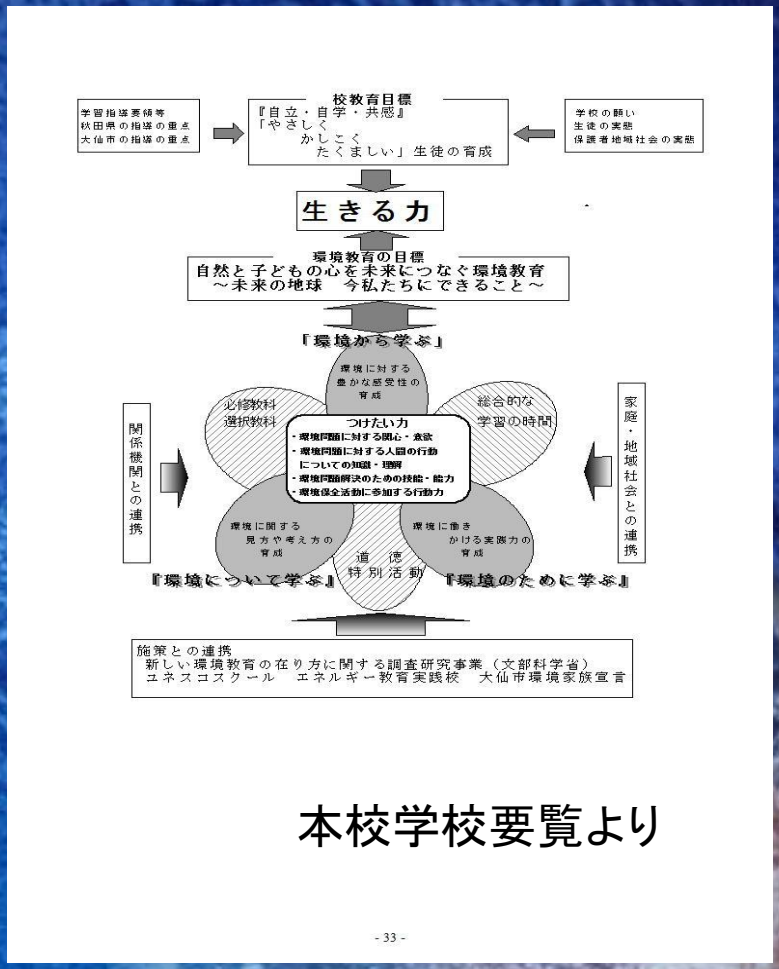
思考力

判断力

行動力

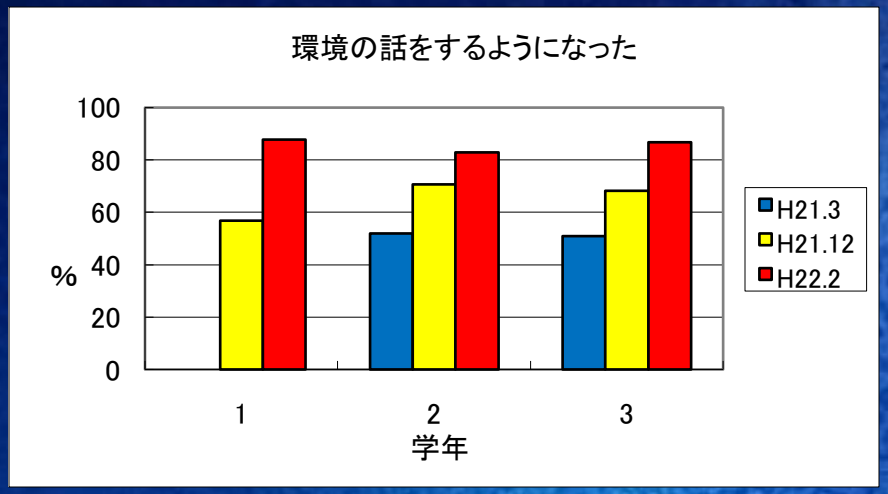
単なる体験主義ではない

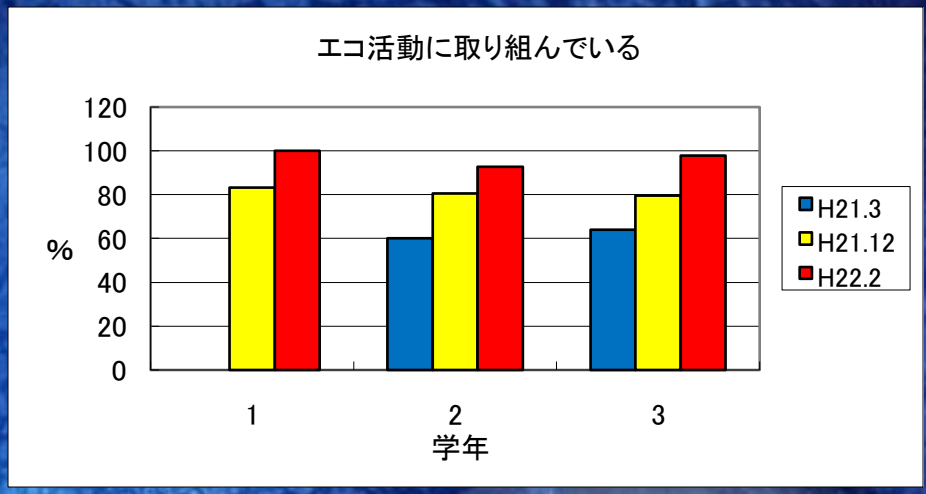
「考える環境教育」

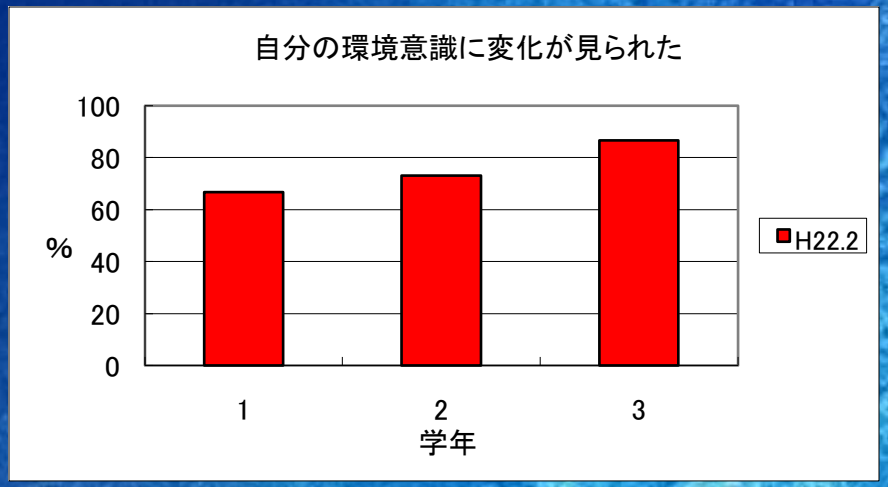


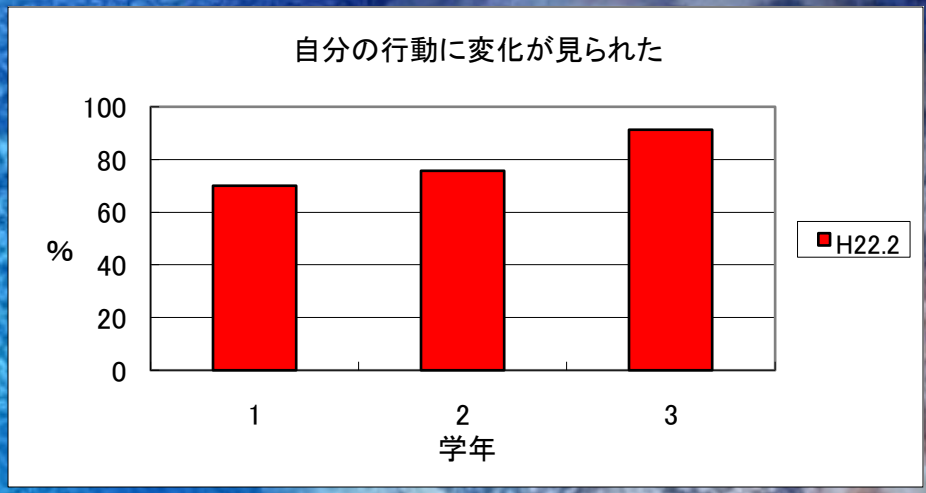
本校学校要覧より

研究の成果①

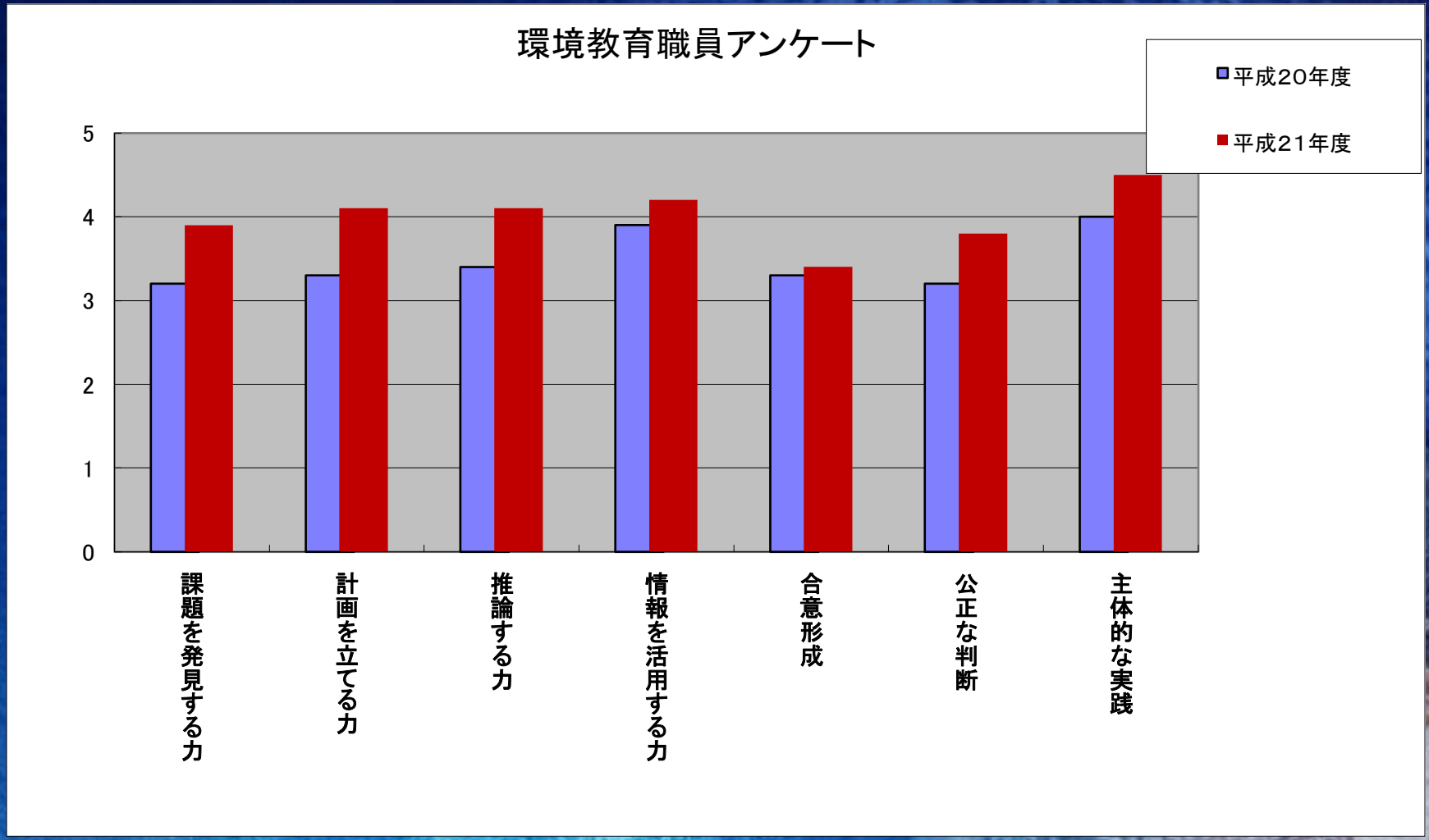

環境の話をするようになった
100
80
60
40
20
0
%
1
2
3
学年
H21.3
H21.12
H22.2


エコ活動に取り組んでいる
120
100
80
60
40
20
0
%
1
2
3
学年
H21.3
H21.12
H22.2


自分の環境意識に変化が見られた
100
80
60
40
20
0
%
1
2
3
学年
H22.2


自分の行動に変化が見られた
100
80
60
40
20
0
%
1
2
3
学年
H22.2

研究の成果②


環境教育職員アンケート
平成20年度
平成21年度
5
4
3
2
1
0
課題を発見する力
計画を立てる力
推論する力
情報を活用する力
合意形成
公正な判断
主体的な実践

環境教育5つの「C」

・Curriculum（教育課程）

・Consensus（合意，意識）

・Cooperation（連携）

・Communication（伝達，発信）

・Continuation（継続）

Curriculum（教育課程）

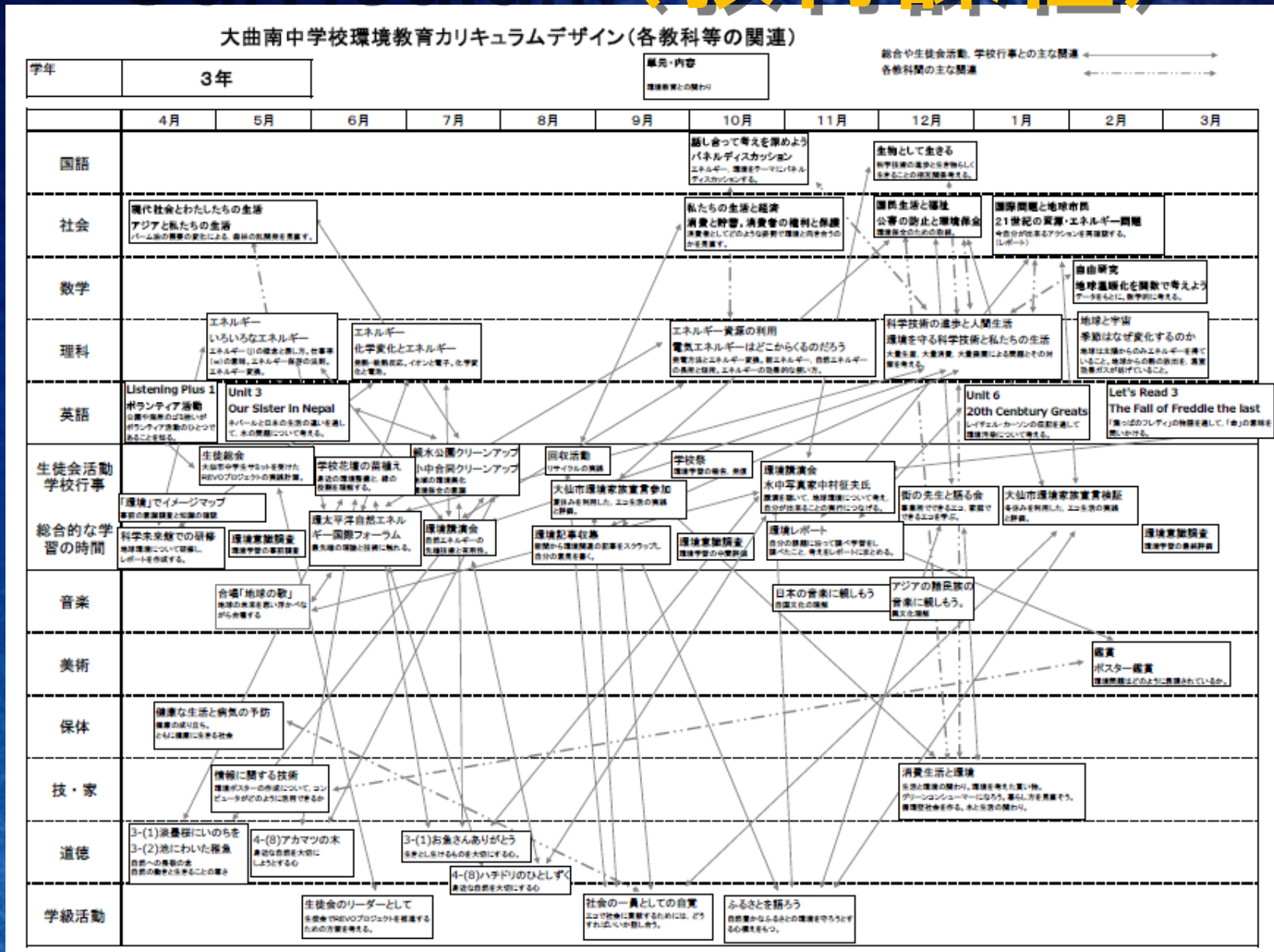
１年・・・自然体験学習

２年・・・キャリア教育と連携

３年・・・エネルギー環境学習

環境教育カリキュラムデザイン

Curriculum（教育課程）



Consensus（合意，意識）

Green

Energy

AutoMatic

Shower

System

GEAMSS

詳しくはWEBで・・・

大曲南　環境

検索

Google 日本

動画が見られます！！

Consensus（合意，意識）

平成21年度大仙市中学生サミット通信

REVO

「REVO(レボ)」とは・・・
R:Recycle（リサイクル）
E:Eco（エコ）
VO:Volunteer（ボランティア）

大仙市中学生サミットの
共通テーマである

H.21.9.8　No.1
発行：大曲南中学校生徒会

平成21年度
大仙市中学生サミット開催

８月１１日（火），大仙美郷クリーンセンターにおいて，平成２１年度「第１回中学生サミット」が開催されました。市内１２校から，代表２６名が参加しました。また今回は，大仙市ＰＴＡ連合会からオブザーバーとしての参加もいただき，活発な意見交換が行われました。

話し合いの様子
新聞，テレビの取材も入りました・・・。

まず始めに，ＲＥＶＯプロジェクトの一環として前回のサミットで決定した「回収活動」への取り組みについての報告が行われました。各校とも「アルミ缶」「プルタブ」「ペットボトルキャップ」「古紙」などの回収活動を行っていますが，大がかりな回収活動を夏休み後半に計画している学校も多くありました。課題として「集まりがよくない」ということが上げられました。

次に，大仙美郷クリーンセンターの職員の方から，施設についての説明をしていただきました。

職員の方の説明

施設見学をする各校代表

主にリサイクルプラザを見学しましたが，ペットボトルや空き缶の量に驚きました。また，この施設の焼却能力は，大曲の花火で出されるゴミを１日で処理できるということで，さらに驚きました。

休憩の後，話し合いが行われました。課題としてあげられた「集まりがよくない」ということについて左のような解決策が出されました。

（書記の大曲中学校代表が，とてもよくまとめてくれたので，写真をそのまま使わせていただきました。）

回収活動以外の「ＲＥＶＯプロジェクト」の進め方についても，活発な意見交換が行われました。

協和中学校代表

豊成中学校代表

私たちの「ＲＥＶＯプロジェクト」を地域と小学校に広げていくための対策として

- **小中合同サミットを開催する（大曲中は実施済）**
- **地域，小学校にも資料配布。**
- **地域や小学校にもＲＥＶＯポスターを貼る。**
- **小学校に訪問し，説明。**

などがあげられました。これらの意見を参考に，今後，各校で「ＲＥＶＯプロジェクト」を広めていくことになりました。

最後に市教育委員会の方から，アンケート結果や大仙市の環境への取り組みのお話がありました。

オブザーバーとして参加された大仙市ＰＴＡ連合会の代表の方からは，「中学生の環境に対する前向きな姿に感動した。親たちにも見せたい。」という感想をいただきました。

各校のREVOプロジェクトへの取り組みの様子や意見を，REVOプロジェクト事務局（南中）までお知らせ下さい。e-mailアドレスは
esd-om@edu.city.daisen.akita.jp まで

Cooperation（連携）

キャリア教育

環境講演会

環境ワークショップ

出前授業

Cooperation（連携）

環太平洋自然エネルギー
国際フォーラム

白神山地自然体験学習

Cooperation（連携）

小中連携環境デー（1月22日）

Cooperation（連携）

①専門的な技術・知識の指導支援

NPO法人環境あきた県民フォーラム

理事長　山本久博さん（講演会2009.7）

事務局長　福岡真理子さん　（省エネクッキング出前事業2009.9）

事務局次長　菊地格夫氏

（ワークショップ2008.12,2010.1）

独立行政法人　産業技術研究所

研究員　安藤尚功さん

（燃料電池出前授業2009.2）

（財）省エネルギーセンター（講師紹介2009.7）

秋田県地球温暖化防止活動推進センター

（環太平洋自然エネルギー国際フォーラムへの参加2009.5）

東北電力能代火力発電所・風力発電所（施設見学と講話2008.11&2009.12）

秋田大学・秋田県立大学連携事業「バイオ燃料技術フォーラム」（生徒参加2008.10）

水中写真家中村征夫さん（秋田県出身）（環境講演会2009.11）

東北電力「放課後広場」横手営業所（待機電力出前授業2010.1）

日本工業大学（フードマイレージ出前授業2010.1）

Communication（伝達，発信）

大曲南中学校

校舎に「緑のカーテン」

太陽光発電で

アサガオやゴーヤーのつるや葉をネットにはわせてつくる日よけ「緑のカーテン」が、県内でも徐々に広がっている。大仙市の大曲南中学校（加賀谷孔作校長、生徒123人）でも今夏、校舎外壁が鮮やかな緑で覆われ、教室に注ぐ強い日差しを遮った。9月に入って枯れた葉も目立ってきたが、アサガオのかれんな花が今も外壁を彩っている。

見た目はよそと同じでも、同校の緑のカーテンにはちょっとした仕掛けがある。3年生の教室がある2階のベランダ。プランター20鉢が並んでいるが出入り口はなく、教室とは窓を乗り越え行き来するしかない。そこで水やりのため、ある仕組みが考案された。

「太陽光発電を使った自動散水で、うちの学校オリジナルのシステム」

アサガオで覆われた教室の窓。

「エコはお得」と強調

事アドバイザーの矢野

ゴムべらで油汚

に直接落として

リルのスポンジ

てみてほしい。

きれいになる。

も洗剤の使用量

時間も減り、排

汚さないので

環境教育カリキュラムデザインに沿って行われた技術・家庭科の省エネクッキング

外部連携が盛んな大曲南中学校

最優秀賞　中学校の部

各教科の連携図る

中学生サミットも

秋田県南東部の大仙市

に位置する大曲南中学

（加賀谷孔作校長）。

校では「エネルギー問

は大切だが、日頃なか

か意識することのない

野」という面に着目し

総合的な学習の時間を

かした取り組みを始

た。生徒数は123人。

今年に入って、学校

育活動全体の中で行う

境教育を目指した「環境

教育カリキュラムデザイ

ン」を作成。このカリキ

ュラムデザインに基づい

て学習活動を展開してい

る。

これはエネルギー・環

境に関し、総合的な学習

の時間を核に、理科や社

会、技術・家庭、国語、

を明示するもの。エネル

行った。

このほか、生徒・保護者向けに、学校での環境教育の現状と成果を伝える環境通信「ESDom」を発行するなど、情報発信にも力を入れている。

電気新聞エネルギー教育賞

大曲南中が最優秀賞

東北で初受賞　環境教育を展開

エネルギーや環境問題を学習に取り入れている学校の活動を表彰する「電気新聞第4回エネルギー教育賞」中学校の部最優秀賞に、大仙市の大曲南中学校（加賀谷孔作校長）が選ばれた。東北の中学校の入賞は初めて。同校で環境教育を担当する島田智教諭は「生徒たちの熱心な活動が評価されてうれしい。県内の環境教育先進校となるよう活動を充実させていきたい」と話している。

同賞には7月1日～9月10日の募集期間に、自薦他薦を合わせて小学校28校、中学校13校、高校・高専20校、その他2団体の計63件の応募があった。10月上旬から審査が行われていた。

同校は総合的な学習の時間を軸に環境教育のカリキュラムを作成。NPO代表や潟上市出身の水中写真家中村征夫さんらを招いて環境講演会を開いたほか、火力や風力の発電施設などを見学してエネルギー供給の仕組みを学んだ。

「大仙市中学生サミット」では環境学習の実践内容を発表。校舎外壁にはアサガオやゴーヤーを使って「緑のカーテン」をつくり、太陽光発電を利用して自動散水する仕組みを取り入れた。学区内でのクリーンアップやペットボトルのキャップ回収など、地域を巻き込んだ活動も展開した。

同賞事務局によると、同校の活動は審査で「外部との連携が活発で、生徒が幅広い思考を養うのに有意義な学習内容」と高い評価を得たという。

大曲南中の生徒たちが校舎外壁につくった「緑のカーテン」。太陽光発電を使って自動散水する仕組みを導

Communication（伝達，発信）

大仙市立大曲南中学校環境教育通信

ESDom

E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.21.8.26　No.15

e-mail　esdom@live.jp

アルミ缶，ペットボトルキャップ回収への
ご協力ありがとうございました・・・

大仙市中学生サミット「ＲＥＶ○プロジェクト」と，本校の環境学習の一環として，２２日に行われたアルミ缶，ペットボトルキャップの回収活動は大きな成果を得ることができました。ご協力下さった保護者のみなさん，トラックで学校まで運んでくださった方々には特に感謝申し上げます。

左：グラウンドに積まれたアルミ缶の山。
右：回収したペットボトルキャップ。
７月の回収時の約４倍集まりました。

リサイクルは，持続可能な(Sustainable) 開発(Development)のための，重要な要素です。リサイクルして作るアルミ缶は，原料（ボーキサイト）から作る場合のエネルギーの１／１０以下で済みます。

これぞまさに「地産地消」！！

夏休み明けの２４日，２，３年生の選択家庭，選択技術の時間に，校庭で栽培したゴーヤを調理しました。この日収穫した１７本のゴーヤを「ゴーヤチャンプル」と「天ぷら」にし，味わいました。フードマイレージは限りなくゼロです。

中華鍋を振る
豊和君

天ぷら（かき揚げ？）
を揚げる斎谷君

琥星さん麗南さん
の見事な包丁さばき

おいしそうな
ゴーヤチャンプル

甘いころもの
天ぷらは好評

ゴーヤ＆アサガオの
ハイブリッド緑のカーテン
から収穫

省エネクッキング出前講座開催

夏休みに，家庭科から省エネクッキングの課題が出ました。しっかりできたでしょうか？本格的な省エネクッキングの講座を，９月２日（水）に開催します。２年生の家庭科の時間に行います。３，４時間目が２Ａ，５，６時間目が２Ｂです。保護者の方で，参観希望者は当日お越し下さい。講師は，環境あきた県民フォーラム事務局長の福岡真理子さんです。

- 1 -

- 第４回エネルギー教育賞
（電気新聞）
中学校の部　最優秀賞

- おらほのCO2
ダイエット作戦３
エフエム秋田賞

Continuation（継続）

省エネナビの設置による
環境学習の「見える化」

Continuation（継続）

ユネスコ・スクール
（環境教育分野）認定

国際理解教育との連携

Continuation（継続）

平成22年度

確かな学力の育成に係る実践的調査研究

環境教育に関する取組を活用した調査研究

（文部科学省）

角間川小・藤木小との連携

小・中連携環境デー（オープンスクール）の開催

全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）にて・・・

環境教育

＝

ESD（持続発展教育）

詳しくはWEBで・・・

大曲南　環境

検索

ご静聴ありがとうございました